

令和 5 年度 (2023 年度) 市立札幌病院一括公表

1 インシデント

レベル	件数		説 明
	4 年度	5 年度	
レベル 0	2,113 件 (53.3%)	1,759 件 (47.3%)	前もって気づいた事例（例：採血管が不足しているのに気がついた等）
レベル 1	1,272 件 (32.1%)	1,224 件 (32.9%)	実害がなかった事例（例：薬の与薬時間が遅れた等）
レベル 2	581 件 (14.6%)	738 件 (19.8%)	確認のための検査は行ったが、処置や治療を行なわなかった事例（例：転倒で打撲した箇所のレントゲン検査を行った等）
計	3,966 件 (100%)	3,721 件 (100%)	

2 アクシデント

レベル	件数		事例概要 ※レベルⅢb 以上
	4 年度	5 年度	
レベル 3a	101 件 (91.8%)	146 件 (89.6%)	○簡単な治療や処置を要した事例（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与等）
レベル 3b	8 件 (7.3%)	15 件 (9.2%)	○濃厚な処置や治療を要した事例（バイタルサイン^{*1}の高度変化、人工呼吸器の装着、入院日数の延長、外来患者の入院、手術等） （事例の概要：過失なし） ① 抜歯中に歯根破折が上顎洞内に迷入した。CT 撮影により歯根を認め経過観察となった ② 病室内で転倒し、右大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術^{*2}となった ③ 廊下で転倒し右上腕骨頸部骨折により髓内釘手術^{*3}となった ④ 腹部手術の際、腸管内の癒着剥離術により腸管穿孔による再手術となった ⑤ 腹部手術後より喉の違和感、下肢のしびれがあり延髄梗塞^{*4}を発症した ⑥ トイレ歩行中に転倒、左大腿骨頸基部骨折により観血的整復固定手術^{*5}となった ⑦ 病室で転倒、右大腿骨転子部骨折し観血的整復固定手術となった ⑧ 心臓カテーテル治療時^{*6}、カテーテル挿入に難渋し心タンポナーデ^{*7}を発症した ⑨ 中心静脈カテーテルを鎖骨下動脈に誤挿入し、経カテーテル的止血術で抜去した ⑩ ECMO^{*8}導入時、脱血管、送血管のカニューレ^{*9}の誤挿入により外科的処置を行った ⑪ 腎臓造設時、腎盂内にガイドワイヤーが遺残し内視鏡的抜去となった ⑫ 病室前で転倒し、右上腕骨頸部骨折、右大腿骨転子部骨折によりバンド固定となった ⑬ 病室のベッド横で転倒し、胸椎圧迫骨折によりコルセットによる保存となった （事例の概要：過失あり） ⑭ 右白内障の手術時、異なる度数の眼内レンズ^{*10}を挿入した ⑮ 左右間違いによる誤抜歯となった （主な再発防止の取り組み） ・医療者による治療部位の確認の徹底、患者への治療部位と内容を説明する

レベル	件数		説 明
	4 年度	5 年度	
レベル 4	1 件 (0.9%)	1 件 (0.6%)	○障害が残った事例 (事例の概要：過失なし) ・下垂体腫瘍の疑いがある患者の心臓手術後、下垂体卒中により右動眼神経麻痺、両目失明となった
レベル 5	0 件 (0%)	1 件 (0.6%)	○死亡となった事例（原疾患の自然経過によるものを除く） (事例の概要：過失なし) ・下部消化管内視鏡検査のため、下剤による処置中に腸管穿孔が生じ緊急開腹術を施行した。結腸に虚血を認め死亡となった
計	110 件 (100%)	163 件 (100%)	

- *1 バイタルサイン（生命徴候）：脈拍、呼吸、体温、血圧などのこと
- *2 人工骨頭置換術：大腿骨頸部内側骨折や大腿骨頭壊死などによって損傷した大腿骨頭を切除し、金属でできた人工骨頭に置き換える手術のこと
- *3 髄内釘手術：骨折部位を固定するために骨髄内に挿入する釘のこと
- *4 延髄梗塞：脳の脳幹にある延髄という部分で血栓や狭窄が起こるなどして血管が詰まり起こる状態のこと
- *5 観血的整復固定手術：骨折に対する外科的治療により金属やプレートといった固定材で折れた骨を接合する手術のこと
- *6 心臓カテーテル治療：足の付け根の動脈・静脈、あるいは腕の動脈から心臓の各部屋や血管（冠動脈）に細く柔らかい管（カテーテル）を入れ、その中の圧力を測定、造影剤を使って心臓の各部屋の大きさ、筋肉・弁の動き、冠動脈が狭くなっているかを確認すること
- *7 心タンポナーデ：心臓の周囲を覆う心嚢(しんのう)と呼ばれる空間に液体が大量に溜まり、心臓の運動が制限される状態のこと
- *8 ECMO：人工肺とポンプを用いた体外循環による治療のこと
- *9 カニューレ：心臓や血管、気管などに挿入する太めの管のこと
- *10 眼内レンズ：白内障手術で水晶体を摘出したときに挿入する人工の水晶体のこと

【レベル 1～5 インシデント・アクシデント 種類別割合】

